

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 21 日	
大阪市長 殿	
提出者	
住所 大阪市鶴見区今津北3丁目3番8号	
氏名 株式会社ワイヤーテクノ	
代表取締役社長 松本 満寿夫	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6961-1751	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ワイヤーテクノ 大阪工場 第一製造部
事業場の所在地	大阪市鶴見区今津北 3 丁目 3 番 8 号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	線材二次製品製造業 2238伸線業
②事業の規模	製品出荷金額：54 億円
③従業員数	62名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙③、④、⑤、⑥ 参照

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
工場長の管理下のもと製造部資材課が実務・管理している。 (別紙①組織図 ②組織図及び業務内容 参照)			

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	排 出 量	458 t	17 t
	(これまでに実施した取組)		
	強酸(廃塩酸):設備集約も完了し排出量抑制に努めています。 強酸(廃硫酸):槽を1槽休止し運用を始め、使用量減少に努めています。 強アルカリ:清掃を、計画的に行い排出量抑制に努めています。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	排 出 量	400 t	20 t
	(今後実施する予定の取組)		
	強酸(廃塩酸):使用量の減少を図り、廃液減量に努めます。 強酸(廃硫酸):槽の清掃を計画的に行い排出減量に努めます。 強アルカリ:廃液を計画的に排出し減量に努めます。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃塩酸タンクが設置してあり10t程度になるとローリーで運搬業者に引き取ってもらっている。 廃硫酸については槽の清掃時及び更新時のみ発生するので直接槽からローリーで運搬業者に引き取ってもらっている。 強アルカリは、槽及びポリタンクに廃液を送りローリーで運搬業者に引き取ってもらっている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃塩酸、廃硫酸、廃アルカリは、同上の現状維持になります。

(第3面－1)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	全 処 理 委 託 量	458 t	17 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	392 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	強酸(廃塩酸)は、392t再生処理業者に委託しました。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	全 処 理 委 託 量	400 t	20 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	380 t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	強酸(廃塩酸)は前年度ほぼ全量再生処理委託を行い、今後も継続します。 強酸(廃硫酸)は、年1～2回槽の清掃を計画しており約20tの発生予定。 強アルカリは、年1～2回槽の清掃を計画しており約20tの発生予定。		
	電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 5 年度）実績】	
特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		475 t	
(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストの運用を一般廃棄物にも 広げて行く予定です。			
※事務処理欄			

(第6面)

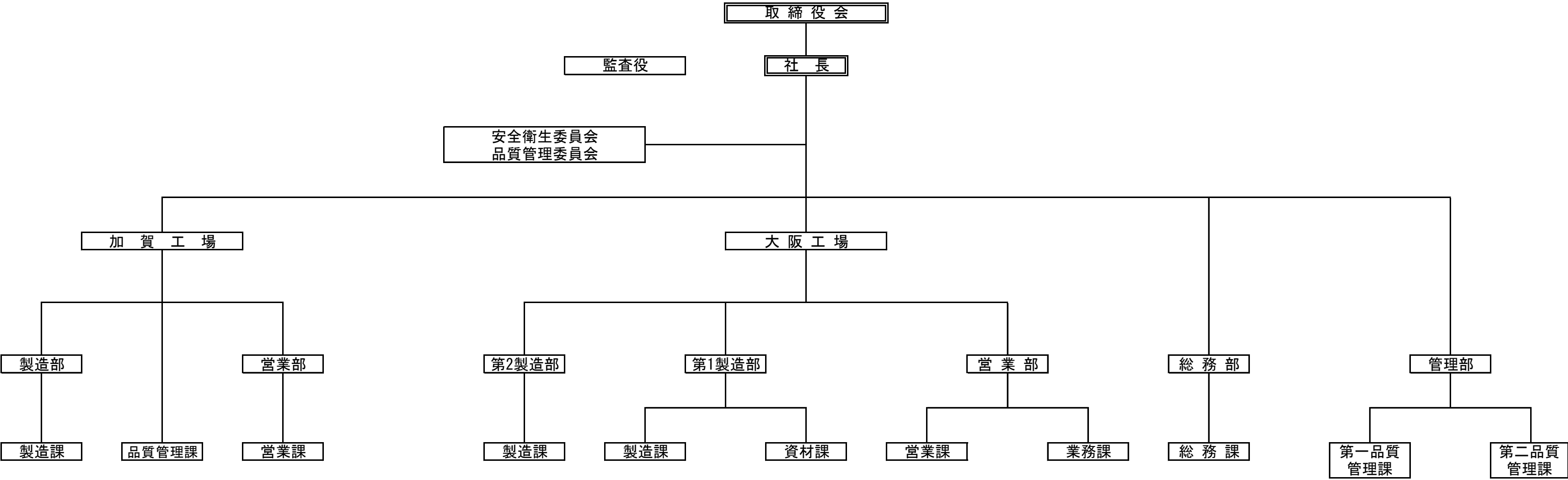
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
 - 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条第4項第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
 - 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
 - 9 ※欄は記入しないこと。

株式会社 ワイヤーテクノ 組織図

平成24年4月1日



会社組織図及び業務内容

1.会社組織図
別紙①

②

2.関係する部、課、係の業務内容

本社	総務部	総務課	労務管理業務、経理業務、財務管理
		第一品質管理課	品質検査・管理業務
			防災、安全、環境、システム管理
	管理部	第二品質管理課	品質検査・管理業務
			防災、安全、環境、システム管理
大阪工場	営業部	営業課	受注、販売業務、新製品開発業務
		業務課	集荷指図、納品書・請求書発行業務
	第1製造部	製造課	生産計画、工程管理業務、産業廃棄物管理業務
		資材課	設備の設計、資材、副資材発注・受入、在庫管理 産業廃棄物管理業務

工程別産業廃棄物発生フローチャート



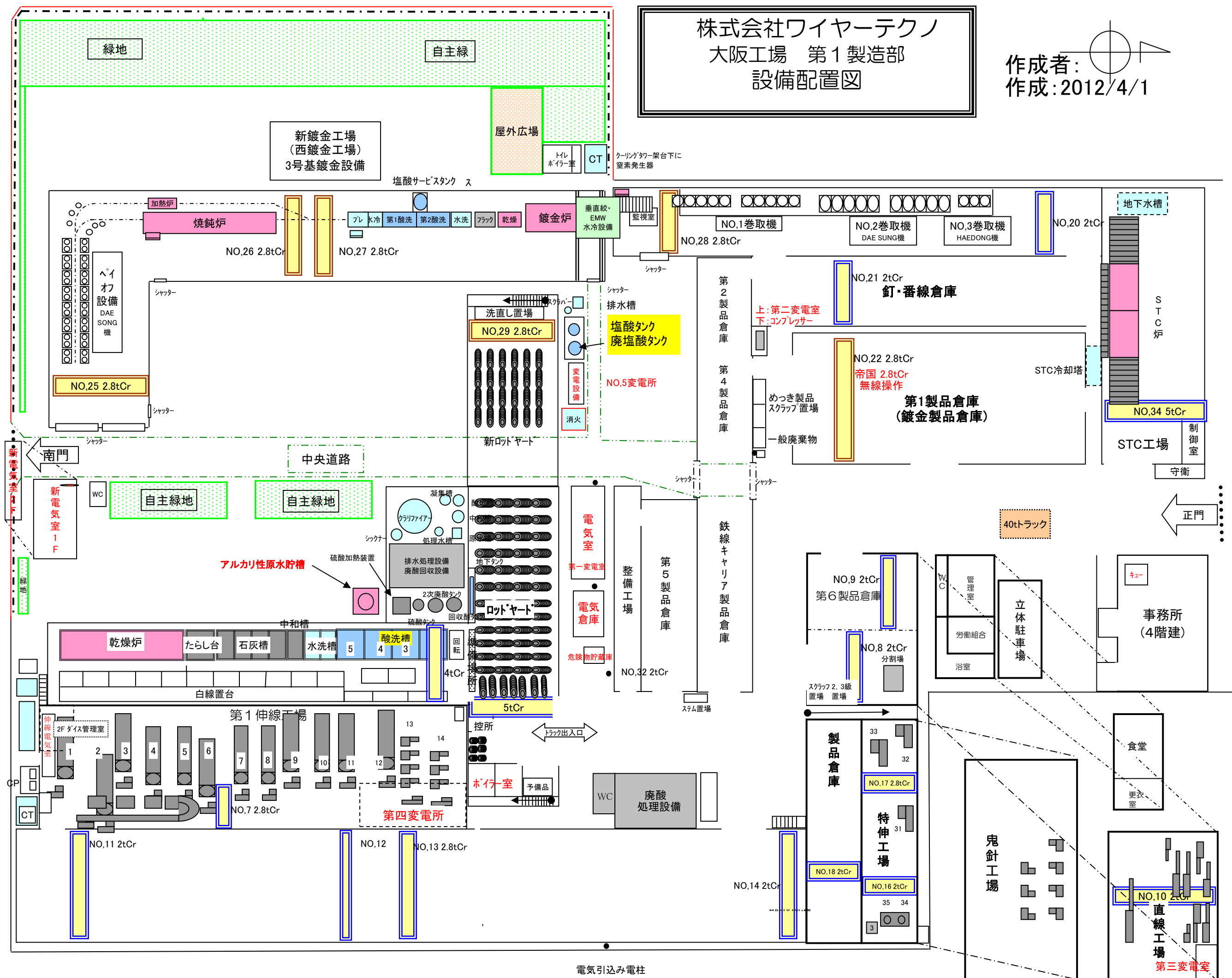
伸線工程

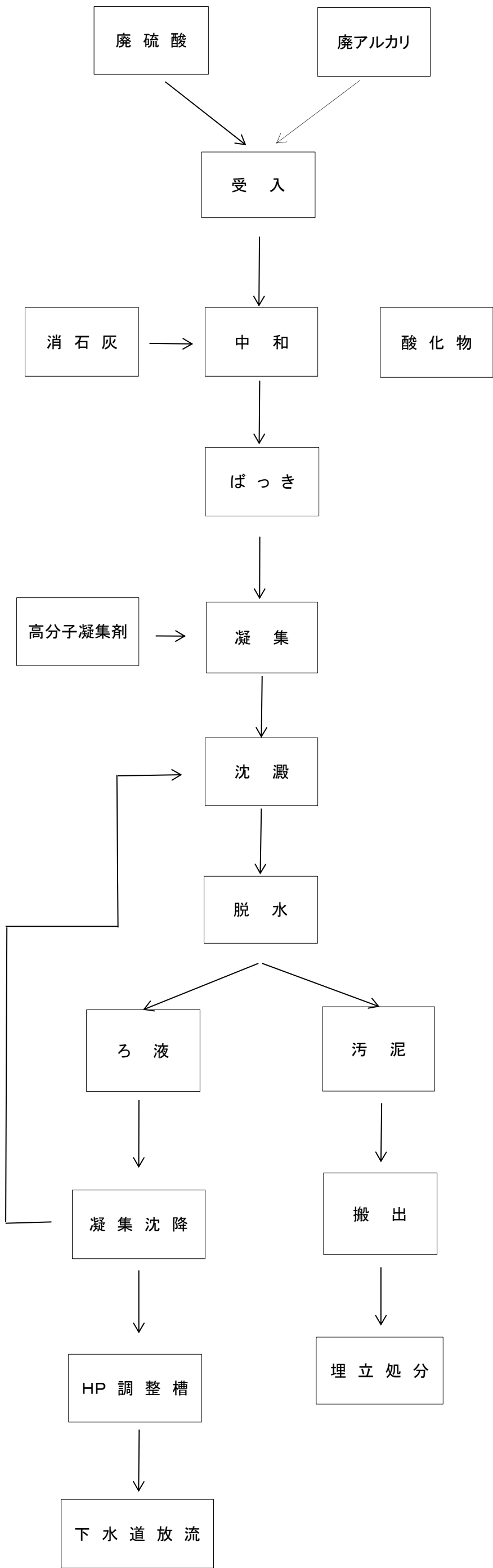
魔アルカ

3号めっき工程

株式会社ワイヤーテクノ
大阪工場第一製造部

廃塩酸及び廃硫酸発生場所





(株)ラサプロテクト
廃塩酸の処理工程図

